

在来工法による木造住宅に 多目的音響室を設けた施工例

○四戸正敏
シグマ音響(株)

原田敬美・佐藤 永
(株)SEC計画事務所

概要：都心の住宅地に、多様な趣味や地域の文化活動にも活かす目的で、大音量の発生を予期して、近隣に迷惑をかけない程度の防音性能を備えた、実用本位を目途に完成させた個人専用スタジオの施工例。

1. はじめに

生活の多様化とともに、個人の趣味や文化活動もかなり広くかつ深く進行しているの感がある。ここでは自宅にこのような生活文化のための設備を整え、個人専用だけではなく価値観を共有する地域の有志にも提供して、ともに生活をエンジョイする目的で設備した多目的音響スタジオの例を紹介する。

もともと自宅が建て替えの時期に来ていたこともあって、建て替えの時には気兼ねなく音の出せる部屋を優先して造ることを当初から計画の中に入れ、当然のことながら建築予算との兼ね合いをにらみながら建築計画を進めてきてようやく実現したものである。総合計画と音響工事はそれぞれの分野を区分して担当し、全体としては共同しての完成である。

- ・総合設計・監理：(株)SEC計画事務所
- ・音響設計・施工：シグマ音響(株)

建築場所は東京都目黒区内で、住宅が比較的密集している地域である。ここで家族がそれぞれの趣味や文化活動にこの空間を活用しようとするものである。

2. 音響スタジオの使用目的

使用の目的は多種にわたり、おおよそ次のとおりである。

1. ロック系リハーサル・ルーム
2. 簡易録音室
3. オーディオ・ルーム
4. 発声・演劇の指導実習室

3. 建物の概要

建物全体と音響スタジオの位置関係についての概要は、平面的に図-1, 図-2に表示した。

1. 構造：在来工法による木造2階建住宅
2. 床面積：1階の総床面積：81.0㎡ (うち、スタジオの床面積：23.6㎡)
2階の総床面積：69.6㎡ (調整室の床面積：7.3㎡)
<建物総床面積：150.6㎡> <音響室総床面積：30.9㎡>